

## 本日の深掘りウォッチ：倒産が止まらない！？2024年度の業種別厳しい現状をまとめてみました！（2024.10.09）

No	日にち	記事	内容	日経URL ※有料会員
1	2024年 6月7日 (金)	日経 ワライ  <b>洋菓子店倒産、 過去最多ペース 甘くない原材料費高騰</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洋菓子店の倒産が急増している。帝国データバンクが7日に発表した調査によると、「街のケーキ店」を中心とした洋菓子店の倒産は1～5月に18件で、2000年以降で最多だった19年を上回るペースとなっている。原材料や人件費の高騰に加え、コンビニエンスストアなどの競争激化が背景にある</li> <li>背景にあるのが原材料価格の高騰だ。23年以降、洋菓子作りに欠かせない砂糖や生クリームなど、原材料のほぼ全てで値上げが相次いだ。価格高騰に耐えられず、事業継続を諦めた店が目立った。特に高騰が目立つのがチョコレートだった</li> </ul>	
2	2024年 7月5日 (金)	日経 39面  <b>介護事業者倒産 1～6月最多</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京商工リサーチは4日、1～6月の介護事業者の倒産件数が81件と遡れる2000年以降で最多になったと発表。前年同期比では27件増えた。24年度の介護報酬改定で基本報酬を引き下げた訪問介護を中心に倒産が相次いだ。</li> <li>人手不足で事業を続けられない企業もあった。業態別の倒産件数では訪問介護が40件と約半数を占めた。</li> </ul>	
3	2024年 7月12日 (金)	<u>ダイアモンド</u> <u>ワライ</u>  <b>ラーメン店の倒産が過去最多 「ミシュラン掲載の人気店」ま でが破綻したワケ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍を耐え抜いたはずのラーメン店の倒産が相次いでいる。2023年度（2022年4月～2023年3月）のラーメン店の倒産は、過去最多の63件で前年度の2.7倍に増えた。</li> <li>一杯のラーメン代は「千円の壁」と言われてきたが、大都市ではゆうに千円を超えるラーメンでも行列ができる人気店もある。だが、ブームに乗じた店舗拡大は両刃の剣だ。もともとラーメン店は参入障壁が低く、生き残りが厳しい業界と言われるが、原材料代や光熱費が高騰するなか、集客競争とコストアップのはざまにラーメン店の模索が始まっている</li> </ul>	
4	2024年 7月12日 (金)	日経 14面  <b>焼肉店倒産、最多ペース 円安で食肉価格高騰</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼肉店の倒産が相次いでいる。帝国データバンクによると、2024年1～6月は20件で前年同期の約2.5倍になった。通年で過去最多だった19年を上回るペースだ。円安や米国産牛肉の生産減少で食肉価格が高騰し、収益を圧迫している。</li> <li>他にも、物価高で消費者の節約志向が強まっていること、くわえて、ワタミなど外食大手が焼肉店に参入して店舗数を増やし、小規模な店が価格競争に耐えられなくなった側面</li> </ul>	
5	2024年 9月3日 (火)	<u>帝国</u> <u>データバンク</u>  <b>「美容室」の倒産急増、前年 比1.5倍で過去最多ペース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美容室の淘汰が加速している。2024年に発生した美容業（美容室）の倒産は、8月までに139件発生した。23年の同期間に比べて約1.5倍となったほか、年間で最多だった2019年（166件）を大きく上回る勢いで推移している。</li> <li>美容室の倒産が急増した背景には、新規開店が続いたことによる店舗間競争の激化があげられる。加えて、円安や原材料高の影響によるシャンプーをはじめとした美容資材の価格高騰、スタイリストなどの獲得難を背景とした人件費などの各種コストアップが追い打ちとなった。</li> </ul>	